

2026 年度重点プロジェクトテーマ候補について

1. 各会議での主な意見やキーワード

	東三河ビジョン協議会有識者懇談会(6/17)	愛知県・市町村人口問題対策検討会議(5/17)	愛知県・市町村人口問題対策検討会議 WG(6/27、28)
人口減少全般	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少抑制の視点だけでなく、人口減少下でも持続可能な地域社会をつくる視点が必要 外国人を含む総人口で考える視点が重要 	<ul style="list-style-type: none"> 市街化調整区域に家を建てられない 未婚者が多い。子どもが生まれない。 外国人との共生 移住定住には情報通信基盤が必須 	
農林水産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> 農地の集約 IT化・機械化 農業従事者の働き方改革 	<ul style="list-style-type: none"> 市街化調整区域内の農地転用が困難 耕作放棄地の貸し出し 担い手不足 	<ul style="list-style-type: none"> 新規就農だけでなく親元就農に対する支援 収入保険の加入に向けた支援 新規就農者の収入の見込みを立てるための販路確保
公共交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> 地域全体のグランドデザイン 交通事業者の経営と公共性の両立 コミュニティ化など新たなサービスの創出 	<ul style="list-style-type: none"> 西尾蒲郡線 	<ul style="list-style-type: none"> 民間交通事業の維持 運転手不足 公共交通の利用に対する意識改革
空き家の活用	<ul style="list-style-type: none"> 家屋の流通や解体の促進 市街化調整区域内の制限緩和 	<ul style="list-style-type: none"> 家屋の流通 市街化調整区域内の制限緩和 市街化区域の不足 	<ul style="list-style-type: none"> 移住者がすぐに住める住宅の確保、賃貸物件の確保 空き家所有者に対する働きかけや支援 所有者と利用希望者のマッチングが困難

2026 年度重点プロジェクトの土台となる考え方

東三河ビジョン協議会有識者懇談会及び愛知県・市町村人口問題対策検討会議における人口減少全般にわたる意見等を総括

人口減少に立ち向かい、住み続けられる地域を維持する

①人に代わる力の導入や合理化を促進する

- ・ ドローンの普及
 - ・ 農地の集約
 - ・ 自動運転の導入
 - ・ 規制の見直し
 - ・ AI の活用
- など

②意欲ある人を創る

- ・ 住民への情報発信や問題意識の共有
- ・ ダイバーシティの推進により担い手の裾野を拡大

など

2. 2024年度第1回東三河ビジョン協議会企画委員会（5/29）で提案いただいたテーマ候補

テーマ候補	事業イメージ例
公共交通の確保 鉄道応援プロジェクト 地域の暮らしと経済を支える公共交通プロジェクト 東三河の今後の公共交通のあり方検討	<ul style="list-style-type: none"> ・住民応援団サミット ・鉄道利用スタンプラリー ・ビッグデータを活用した移動実態調査 ・サイクルトレインなどの新たな鉄道サービスの検討 ・MaaS構築に向けた実証実験 ・自治体や交通事業者が参加する「東三河広域公共交通勉強会（仮）」の設置 ・コミュニティモビリティ（近距離の相乗りオンデマンドサービス）などの新たなモビリティ事業を検討
スタートアップ支援の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップの支援事業の相互連携
ICT・IoTを活用したスマートシティの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・主要公共施設の通信環境整備 ・MaaSの導入（観光向けオンデマンド交通の導入、公共交通とそれ以外のサービスの複合化） ・行政区域を越えたリアルタイム観光情報、災害情報の発信 ・各施設の電子化（キャッシュレス、施設予約、入場券、割引券等）

3. 土台となる考え方とテーマ候補との関係性

	人に代わる力の導入や合理化 例	意欲あるひとを創出 例	関連事項
公共交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・自動運転 ・ライドシェア ・カーシェア ・コミュニティモビリティ ・MaaS ・AI 	<ul style="list-style-type: none"> ・東三河広域公共交通勉強会（仮）の設置 ・交通事業者への支援（運転手の確保など） ・スタートアップ支援 ・一般県民も課題等を共有しプレイヤーに 	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドデザインの検討 ・ICT・IoTを活用したスマートシティの推進 ・東三河ビジョン協議会や企画委員会への交通事業者の参加を検討 ・東三河地域公共交通活性化協議会 ・豊橋鉄道株式会社「新モビリティサービス推進事業（MaaS実証事業）」（2024年度）
農林水産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の流通 ・農地の集約 ・機械化 ・IT化 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業法人や営農者への支援（各種制度の解説、機器の試用など） ・サラリーマン化など、農業従事者の働き方改革 ・スタートアップ支援 ・一般県民も課題等を共有しプレイヤーに 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊川用水次世代農業推進協議会設立（7月2日）
空き家の活用		<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップ支援 ・一般県民も課題等を共有しプレイヤーに 	

・テーマ候補「ICT・IoTを活用したスマートシティの推進」は、テーマ候補「公共交通の確保」の関連事項として整理

・テーマ候補「スタートアップ支援の強化」は、各テーマ候補の「意欲あるひとを創出」の重要な部分を構成

4. 2026年度重点プロジェクトテーマ候補（事務局案）

案1 公共交通の確保

案2 農林水産業の振興

※案3 分野横断型とし「人に代わる力の導入や合理化の促進」や「意欲あるひとを創出」

※案3のイメージについて

公共交通や農林水産業などの複数の分野から、重点的に取り組む項目を抽出する（例：運転手の確保、農地の集約など）。

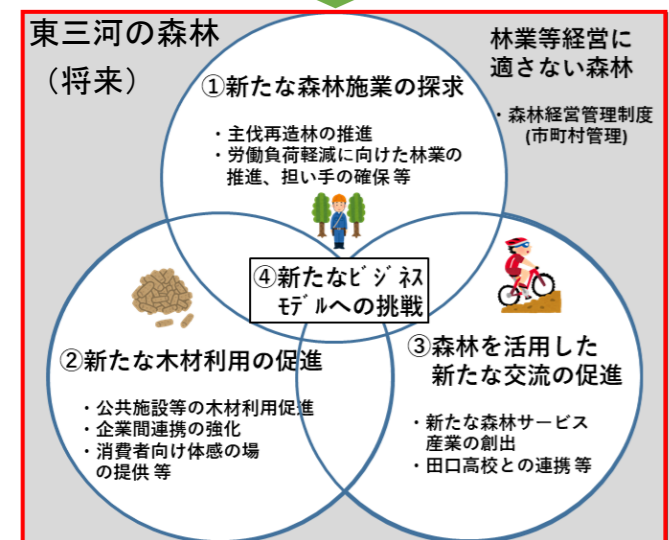
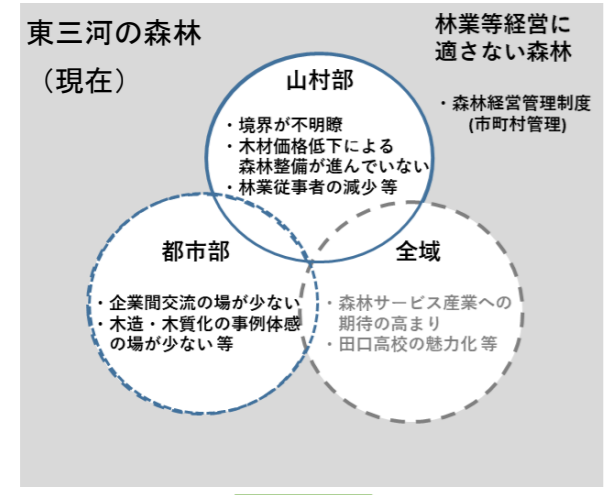
公共交通や農林水産業以外の分野においても、対象となる取組はあり得る。

また、地域を担うことに意欲を持つ人材を育てるための、一般県民向けの取組を行う。

2024年度重点プロジェクト「東三河森林ルネッサンスプロジェクト～森林資源の循環利用による東三河の振興～」の実施状況について

事業目的

森林関連産業における新たな収益事業の構築や既存事業の強化拡大・連携推進を図り、成長化に向けた可能性を探ることで、豊かな森林資源を活かした東三河の振興を目指す。



- 事業方針(4つの柱)**
- ① 新たな森林施業の探求
 - ② 新たな木材利用の促進
 - ③ 森林を活用した新たな交流の促進
 - ④ 新たなビジネスモデルへの挑戦
- (④は①～③の組合せ)

豊かな森林資源を生かした東三河の振興

目標管理指標

(計画期間：2024年～2026年)

- ・ 林業における新たなビジネスモデルの構築件数 1件以上
- ・ 林業以外における森林を活用したサービス事業の開発件数 4件以上

事業実施状況及び事業計画

事業方針	事業項目	2024年度事業内容	2025年度事業計画	2026年度事業計画	
新たなビジネスモデルへの挑戦	1. 森林信託制度の導入検討	○候補地及び隣接地の権利関係、サプライチェーン状況の調査、収支の試算、法令の確認等を調査し、候補地における制度導入の可能性を判断	制度の導入、運用	制度の運用	
			制度の普及啓発		
	新たな森林施業の探求	2. カーボンニュートラル社会の実現につながる主伐再造林の推進	○主伐、再造林等に対する補助実施(周知、指導等)	県による主伐・再造林等に対する補助制度の実施	
		3. J-クレジット制度の推進	○西三河管内の県有林における森林クレジットの創出 ○クレジット販売先確保に向けたマッチングの実施	J-クレジット制度に関する情報の共有・活用の検討	
		4. 労働負荷軽減に向けたスマート林業、境界の明確化に向けた取組等の推進	○ドローンによる苗木運搬のデモンストレーション等の実施(林業経営体向け、一般県民向けの2回実施) ○ICTを活用した取組の照会及び共有	ドローン活用実証結果の普及啓発 ICTを活用した取組情報の集約・重点PTによる共有	
5. 担い手確保		○ふるさと回帰フェア 2024(9/21(土)、9/22(日))等のイベント時に、林業の啓発活動を実施	東京圏移住イベント等を活用した林業への関心拡大に向けた啓発等の実施		
新たな木材利用の促進	6. 企業間連携の強化	○8/24(土)、25(日)ウッドワンダーランド in 東三河を開催 会場：こども未来館こここ 家族向けの木工ワークショップ、木質体感ショールーム等 ○11/21(木)、22(金)ウッドコレクション in 東三河を開催 会場：豊橋市総合体育館 事業者向けの家具やインテリアの展示 等	企業展示会・交流会(ウッドワンダーランド東三河版)の実施		
		○木質体感ショールームの設置 8/3(土)～22(木) emCAMPUS 10月～11月 こども未来館こここ (その他、東三河総合庁舎で展示 8/27(火)～9/27(金)) 構造躯体、カタログスタンド、ベンチ等の展示 ○地域材を使用した戸建住宅建築補助制度 実施状況照会	消費者向け木造・木質化の体感の場(木質体感ショールーム)の設置 市町村による地域材を使用した戸建住宅建築補助制度の実施・拡充		
	7. 住宅等の木材利用、サーキュラーエコノミーの推進	○計画リストを作成し、情報共有	公共施設(県・市町村)への地域材利用の促進		
	森林を活用した新たな交流の促進	9. 森林サービス産業の推進、森林を活かした環境学習と上下流交流の促進	○企業を対象とした森林サービス産業に対するニーズ調査、森林サービス産業に関心のある事業者の発掘、サービス産業モデルプラン造成、名古屋、浜松、東京各地区における誘客プロモーションの実施	森林サービス産業実証実験	森林サービス産業自走に向けた検討
10. 田口高校との連携		○県教育委員会と連携協力し、田口高校の魅力化を推進 ○木工事業者と田口高校によるコラボ商品の開発・制作、学習カリキュラムの開発、卒業後の進路候補調査、名古屋方面での田口高校PRイベントの実施 等	田口高校魅力化事業 県・市町村による田口高校制作木工品の購入・PR		

2022年度重点プロジェクト「大都市の企業・個人を対象とした東三河関係人口、移住・定住の創出」の実施状況について

1 関係人口の創出

(1) ビジネスマッチングを通じた関係人口の創出

ア 東三河めぐる MeetUp の開催

東三河地域の豊かな食と農を首都圏に向けてPRし、ビジネスマッチングにつなげるとともに、首都圏において東三河へ「高い関心を持つファン」を作り、関係人口や移住希望者の増加につなげる。

開催予定日：第1回 2024年10月3日(木)18:00～

第2回 2024年12月

開催場所：3×3LabFuture(東京都千代田区大手町1-1-2 大手門タワー・ENEOSビル1階)

イ 東三河企業と大都市個人とのマッチング

東三河企業の抱える課題を首都圏等の企業に勤務する人材を活用して解決する取組により、関係人口の創出をはかる。

2023年度から継続する首都圏のマッチング事業を引き続き展開するとともに、新規に1件のマッチングを行う。また、2025年度以降も継続させるために、2種のマネタイズ方法を試行する。

東三河企業×首都圏人材	内容	マネタイズ方法
福井酒造(株)×古池 茜	日本酒のPR	—
ダイケン商会(株)×内倉拓海	SDGs製品の売上拡大	東三河企業からの固定費+成果報酬
【新規】未定×和田大輝	未定	首都圏人材が所属する企業からの研修費

(2) ボランティアを通じた関係人口の創出

ア 歴史をテーマとした実証実験の実施

市町村文化財担当課と連携し、歴史をテーマとしたボランティアの広域的な募集を実施(5団体10事業)。今年度は、7月頃から募集開始予定。

イ 草刈りをテーマとした実証実験の実施

地域活動で、担い手不足として課題となることが多い「草刈り」に着目し、担い手創出の一環として「草刈り」をテーマとした講座を実施。

開催予定：

実施内容	実施日[参加人数]
刈払機の安全講習会	8/3(土)[8人]
大学生向け地域活動学習プログラム	8/17(土)[4人]、18(日)[4人]、10/27(日)、11/24(日)

(3) 関係人口創出セミナーの開催

奥三河地域で関係人口の創出・増加を図る取組を実践している方を対象に、これから地域と関わりを持とうとする人に対して地域課題の課題解決等に継続的に関わるきっかけをどのように提供していくか等について、専門的・実践的なセミナーを開催。

	テーマ	開催日	開催場所
第1回	イベントホームステイ(イベント民泊)	9/19(木) 13:30～15:00	新城文化会館
第2回	未定	12～2月	未定

2 移住・定住の促進

(1) 東京圏移住イベントの実施

ア ふるさと回帰フェア 2024

開催日：2024年9月21日(土)、22日(日)

会場：東京国際フォーラム

内容：愛知県3ブース(東三河総局、市町村課2ブース)、市町村(豊橋市※、豊川市、蒲郡市、新城市、田原市※) ※豊橋市と田原市は22日のみ



(ブースデザイン案)

イ JOIN 移住・交流&地域おこしフェア

開催日：2024年12月7日(土)、8日(日)、会場：東京ビッグサイト

内容：あいちの山里・離島の移住相談を実施

(2) 東三河地域の魅力等の情報発信

東三河地域の特徴を盛り込んだYoutube動画を作成し、ターゲットを絞って広告発信することで、東三河地域をPRするとともに、配信結果を分析することで、今後の移住施策の効果的なアプローチにつなげる。

(3) 移住ポータルサイトの拡充

昨年度に引き続き、東三河に活動拠点を設け全国展開している上場企業やベンチャー企業、田原市及び北設3町村の企業等の特徴的な取組を移住ポータルサイトで紹介し、首都圏に向けてPRを行う。

取材先企業(案)：SALA、武蔵精密工業、OSG、日本車両、アグリトリオ、スペースなど

(4) お仕事紹介の電子教材作成

奥三河地域に誇りを持ち、将来における就業のきっかけとなるよう奥三河の地域資源やそれに関わる事業者を効果的に紹介する電子教材を児童・生徒向けに作成し、授業で活用していく。

3 重点PT構成団体による2024年度取組予定

- ・「定住・移住アドバイザー」や二十歳の集いを活用した情報発信(豊橋市)
- ・豊川市公式Podcast「とよかわキャスト」の配信(豊川市)
- ・民間施設による蒲郡市移住相談窓口の設置(蒲郡市)
- ・ふるさと回帰支援センターと連携した出張相談デスク(相談会)の実施(新城市)
- ・サーフィン住宅 LaSea-THE SURFTOWN TAHARA-の販売開始(田原市)
- ・したらワークス協同組合と連携しながらの移住相談(設楽町)
- ・移住補助制度「とうえい暮らしのカラフルパッケージ事業」の実施(東栄町)
- ・豊根村未来応援奨学金返還支援補助金の設置(豊根村)
- ・「豊橋商工会議所無料職業紹介所」による中途人材の採用支援(東三河広域経済連合会)

4 移住の取組成果

指標	内容	2023実績
① 東三河への移住に興味を持った者	県及び各市町村の移住イベント等への参加者数	297人
② 東三河への移住の見込みのある者	市町村窓口、移住サポーター等へ移住相談を行った者	349人
③ 東三河へ移住した者	移住支援制度等の利用者(重複含む)	財政的支援 405件
		財政的支援以外 46人